

地理歴史科（日本史B）指導案

実施日時	平成 30 年 12 月 18 日(火)4 校時
実施場所	鹿児島県立大島高等学校 2 年 1 組教室
指導学級	2 年理系(男子 14 人 女子 15 人 計 29 人)
使用教材	教科書『詳説日本史 B』(山川出版社) 資料集『日本史図表』(第一学習社) 『新日本史要点ノート』(啓隆社)
授業者	坂上謙次

1 単元名

第 4 章 中世社会の成立

1 節 鎌倉幕府の成立

- 1 源平の争乱
- 2 鎌倉幕府
- 3 幕府と朝廷
- 4 理想の会社とは
- 5 理想の組織とは (本時)

2 単元観

学習指導要領では本単元について、「中世国家と社会や文化の特色について、武士の土地支配と公武関係、宋・元などとの関係、仏教の動向に着目して、中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立背景について考察させる」とある。

本単元ではそれをふまえて、古代の律令体制が変貌して中世的な国家体制となっていたことや、その背景となる荘園制などの社会の仕組みとその変遷過程に留意して幕府の成立や公武関係の変化について扱い、古代とも近世とも異なる中性的な国家や社会のあり方について考察させたい。

3 生徒観

本校では 1 学年で全員世界史 A を学び、日本史 A および地理 A も選択して履修している。2 学年では 1 年次の選択科目から 1 科目各々選択し、3 学年では 2 学年時の科目を継続して履修している。

授業実施学級の 2 年理系は、理系の習熟度クラスと普通クラスの合同クラスである。生徒は素直で明るく、課題などの提出状況も比較的良い。ただ、日本史の授業内容の定着ができていない生徒とできていない生徒がはっきり分かれてきており、授業中の取り組みも、生徒間で明らかな差がある。

4 指導観

授業実施学級は学力の幅が広く、また進学目標も国公立大学から専門学校と多岐にわたり、センター試験を必要としない者もいる。授業は本年度より基本的に生徒が活動する場面を設定して行うように試みており、生徒には全て自分の将来の参考になるということを伝えて展開している。また日本史における深い学びとは、過去を学び、その経験から現代の問題に対して自分なりに考え、未来をどう変えるかだと考える。そのため過去の出来事を現代とどうリンクさせるかという点も視野にいれて、可能な単元については意識して取り組んでいる。

5 単元の目標

鎌倉幕府の性格を、領主層による土地支配や公武関係の実態に着目して、多面的・多角的に考察させる。

6 本時の目標

鎌倉幕府が組織を当時の状況に合わせて変えていったことをその背景とともに理解し、幕府がより長期政権を維持するためにはどのような組織がよかったのか、改善案を提案する。

7 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
鎌倉幕府の性格や公武関係の実態等に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	鎌倉幕府の性格や公武関係の実態等を東アジア世界との交流によってもたらされた文物・制度の影響ふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	鎌倉幕府の性格や公武関係の実態等の諸資料から、有用な情報を適切に選択し、時代ごとの特徴や問題点について読み取ることができる。	鎌倉幕府の性格や公武関係の実態等などを理解し、その知識を身につけている。

指導と評価の計画（全5時間 本時5時間中の5時間）

時	学習内容	評価の観点				評価の観点
		関	思	技	知	
1	源平の争乱	○			○	歴史事象のつながりを意識して理解する
2	鎌倉幕府	○		○		鎌倉幕府の組織や支配体制についての基本事項を理解する。
3	幕府と朝廷	○	○	○		幕府と朝廷の関係について、これまでとの違いを明らかにしながら、その特徴について話し合う。
4	理想の会社とは	○		○	○	自分が会社の経営者になったと仮定して理想の会社組織を班で話し合い、発表する。
5	理想の組織とは（本時）	○	○	○		鎌倉幕府が長期政権となるために必要な組織を提案する。

本時の展開

過程	学習活動	指導上の留意点	評価規準
導入 2分	1. 本時の説明 2. 学習課題を設定する。	1. 前時の会社作りの視点を入れて考えることを意識させる。	
鎌倉幕府の組織の改善案を提示しよう			
展開1 グループ活動 10～15分	1. 鎌倉幕府の組織図の変遷について、なぜ変えたのかという点を踏まえてまとめる。	1. 机間巡視しながら作業の進まないグループにはヒントを与える。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書・ノート・資料集を要点を捉えて読んでいるか（興味・関心） ・わかったことを書いているか（技能・表現）
展開2 グループ活動（インベション活動） 15～20分	1. 鎌倉幕府が長期政権を維持するためにはどんな組織がよかったのか、改善案を考える。	1. 前時の授業も踏まえることを伝える。 2. 発表することを念頭において話し合いをすることを指示する。 3. 話し合いが対話的になるように指示する。	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いに積極的に参加しているか（興味・関心） ・学習課題について班で話し合って結論を導き出せているか（興味・関心）（思考・判断）（技能・表現）
展開3 プレゼンテーション 10分	1. 各チームがそれぞれ考えた改善案についてプレゼンする。 2. ミニホワイトボードを使って各班を回ってプレゼンする。（1分） 3. ヒアリング担当は良い点をメモする。	1. チームでプレゼンターとヒアリング担当に分けさせる。 2. プレゼンターは1分以内で終わらせることを考えること、ヒアリングは他チームの良い点をしっかりとメモすることを指示する。	<ul style="list-style-type: none"> ・決められた時間内に発表できるか（技能・表現） ・話の内容を的確に把握し、メモができるか（興味・関心）
まとめ 3分	1. 本時の振り返りを行う		